

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公開番号】特開2003-172648(P2003-172648A)

【公開日】平成15年6月20日(2003.6.20)

【出願番号】特願2002-354267(P2002-354267)

【国際特許分類第7版】

G 01 F 1/84

【F I】

G 01 F 1/84

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月1日(2004.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コリオリ原理により作動し、コリオリ測定管(1)と、該コリオリ測定管(1)に配属されており、該コリオリ測定管(1)を励振する振動発生器(2)と、該コリオリ測定管(1)に配属されており、コリオリ力及び/又は複数のコリオリ力に基づく振動を検出する測定値受信器(3)とを有する質量流量測定器の動作方法において、

該質量流量測定器において使用可能な電力を測定し、前記コリオリ測定管(1)の平均振動エネルギーを前記測定された使用可能な電力に依存して制御する、及び/又は、前記測定値受信器(3)から到来する測定信号を変換するA/D変換器(4)のサンプリング周波数を前記測定された使用可能な電力に依存して制御することにより、該質量流量測定器において使用される電力を前記測定された使用可能な電力に依存して制御することを特徴とする、質量流量測定器の動作方法。

【請求項2】

コリオリ原理により作動し、コリオリ測定管(1)と、該コリオリ測定管(1)に配属されており、該コリオリ測定管(1)を励振する振動発生器(2)と、該コリオリ測定管(1)に配属されており、コリオリ力及び/又は複数のコリオリ力に基づく振動を検出する測定値受信器(3)とを有し、前記振動発生器(2)を制御する駆動装置(5)が設かれている質量流量測定器において、

該質量流量測定器において使用可能な電力を測定するために電力測定装置(7)が設けられており、該質量流量測定器において使用される電力を制御するために、前記電力測定装置(7)と接続されている電力制御ユニット(6)が設けられており、該電力制御ユニット(6)を用いて、前記駆動装置(5)を介して前記振動発生器(2)の電力消費量及び/又は前記測定値受信器(3)から到来する測定信号を変換するA/D変換器(4)のサンプリング周波数を、前記測定された使用可能な電力に依存して制御することを特徴とする、質量流量測定器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

**【発明の属する技術分野】**

本発明は、コリオリ原理により作動し、コリオリ測定管と、該コリオリ測定管に配属されており、該コリオリ測定管を励振する振動発生器と、該コリオリ測定管に配属されており、コリオリ力及び／又は複数のコリオリ力に基づく振動を検出する測定値受信器とを有する質量流量測定器の動作方法、並びにコリオリ原理により作動し、コリオリ測定管と、該コリオリ測定管に配属されており、該コリオリ測定管を励振する振動発生器と、該コリオリ測定管に配属されており、コリオリ力及び／又は複数のコリオリ力に基づく振動を検出する測定値受信器とを有し、前記振動発生器を制御する駆動装置が設けられている質量流量測定器に関する。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

**【課題を解決するための手段】**

この課題は、方法に関しては質量流量測定器において使用可能な電力を測定し、コリオリ測定管の平均振動エネルギーを測定された使用可能な電力に依存して制御する、及び／又は、測定値受信器から到来する測定信号を変換するA／D変換器のサンプリング周波数を測定された使用可能な電力に依存して制御することにより、質量流量測定器において使用される電力を測定された使用可能な電力に依存して制御することによって解決され、装置に関しては質量流量測定器において使用可能な電力を測定するために電力測定装置が設けられており、質量流量測定器において使用される電力を制御するために、電力測定装置と接続されている電力制御ユニットが設けられており、電力制御ユニットを用いて、駆動装置を介して振動発生器の電力消費量及び／又は測定値受信器から到来する測定信号を変換するA／D変換器のサンプリング周波数を、測定された使用可能な電力に依存して制御することによって解決される。